

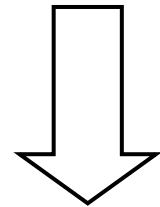
管理目標ワーキングの活動報告

～ 維持管理の検討方針について ～

「維持管理の検討」について

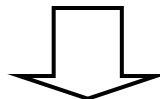
【平成30年度以降の協議会の組織体制について】 ～特に維持管理の視点から～

①維持管理メニューの洗い出し



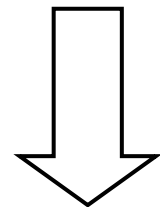
- 1)整備済み箇所の現地状況の確認
- 2)国が実施すべきメニュー
 - ・「河川管理用通路」の除草
 - ・事業効果検証のためのモニタリング
 - ・整備地に流入した土砂の除去等
- 3)上記以外のメニュー
 - ・整備地(上池湿地・下池ハンノキ移植地等)の目標種定着までの外来種駆除、
 - ・事業効果検証以外のモニタリング

②維持管理に必要な人員・コストの算出



洗い出したメニューに必要な人員・コストの算出
※三ツ又沼ビオトープ等の事例を参考

③組織体制の検討



- 1)先行事例の確認(管理目標ワーキング主催の視察等)
- 2)体制の検討
 - * 協議会とは別組織の立ち上げ?
 - ⇒ ①協議会、②NPO、③公益法人、④株式会社
 - ⑤公園化 等

④資金確保方策の検討



- 1)事例の確認
- 2)資金確保方策の検討

組織の設立・維持管理の実施(H30以降)

「維持管理の検討」について

●スケジュール(たたき台)

項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
①維持管理メニューの洗い出し								
整備済み箇所の現地状況の確認								
メニューの洗い出しと仕分け 1) 国が実施すべきメニュー 2) 1) 以外のメニュー								
②①に要するコストの算出(人員・金)								
事例の確認								
コストの算出(人員・コスト)								
③組織体制の検討(②の人員)								
事例の確認						先行事例見学		
体制の検討								
④資金確保方策の検討(②のコスト)								
事例の確認								
資金確保方策の検討								
仮称「維持管理計画素案」の作成								
専門委員会の立ち上げ					設立主旨、設置要綱の検討		☆	
(協議会開催予定)				第35回			第36回	

「維持管理の検討」について

管理対象

項目	地区・管理対象		荒川太郎右衛門地区	参考:三ツ又沼
管理対象面積	全体(全体構想書P37記載)		400ha (上池掘削・下池河畔林保全、再生の合計は9.8ha)※	13ha
	実施計画の掘削及び河畔林保全の面積	上池(掘削)	旧流路 2.5ha 湿地環境拡大 4.5ha	
		下池(外来種繁茂エリア)	下池河畔林保全、再生 2.8ha	
管理対象	看板・案内板	上池	上池5個	駐車場に2個 木道横に1個
		中池	中池入り口1個(予定)	
		下池	下池1個＋入り口1個(予定)	
		全体	エアポート前1個＋太郎右衛門橋1個(予定)	
	水位計	上池	6箇所	2箇所
		中池	5箇所(堤内地1箇所含む)	
		下池	7箇所(堤内地1箇所含む)	
	整備地	上池	呑み口1か所	木道・仮設トイレ・駐車場 整備地
			導水路(300m)	
			管理用通路:モトA掘削地周囲	
			見晴し台:モトD全面	
		中池	掘削地:湿地(モトA, D掘削地)	
			管理用通路(旧流路沿い・線形未定)	
			管理用通路(線形未定)	
		下池	掘削地:下池ハンノキ移植地	
			河畔林再生予定地	
			管理用通路(線形未定)	

※管理用通路は未検討のため、含めていない数値です。
今後、この分が追加となります。

管理対象 説明(1):全体面積

荒川太郎右衛門地区自然再生地と三ツ又沼ビオトープの面積
荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想書 P37より

目標について

- ・荒川ビオトープ・三ツ又沼ビオトープ等の自然の拠点をつなぐ縦軸のネットワークや、江川流域・近隣都市公園等の周辺地域をつなぐ横軸のネットワークの「核」となる太郎右衛門自然再生地の湿地環境を保全・再生することにより自然環境全体の質的向上を図り、エコロジカル・ネットワーク化を推進するものである。
- ・エコロジカル・ネットワークの構築に当たっては、堤内地の土地利用に関して関係諸機関と連携した取り組みを目指すものである。

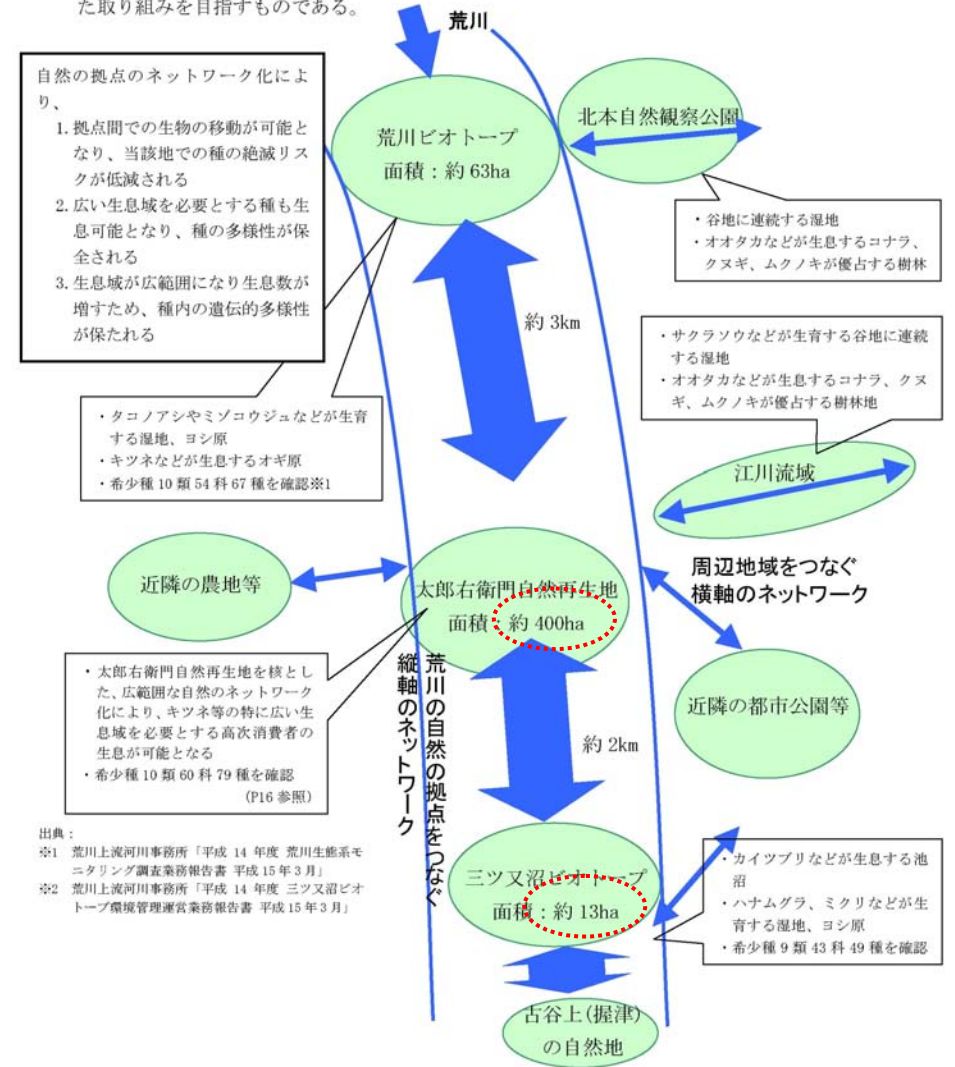


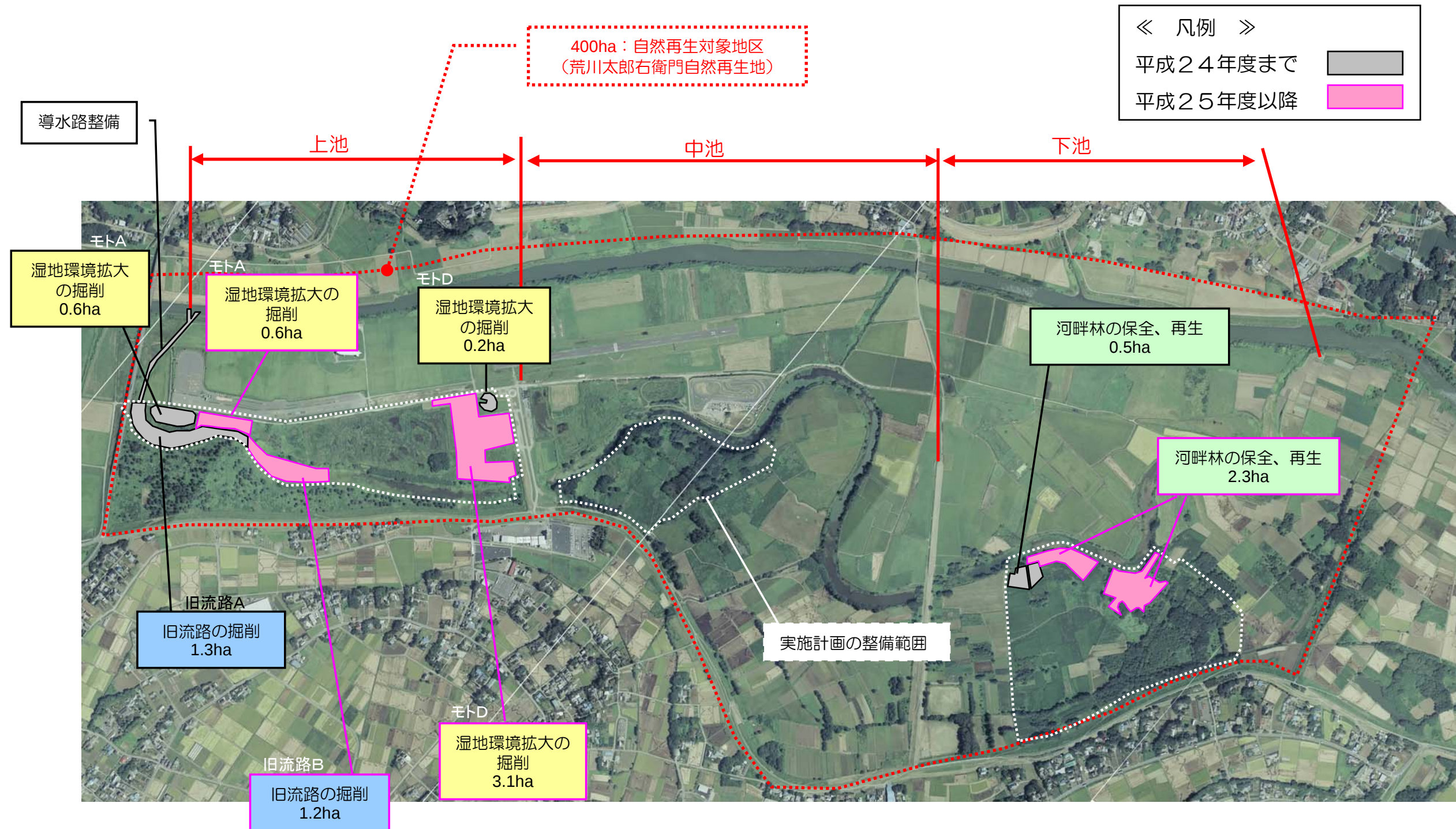
図 2-8 太郎右衛門自然再生地周辺のエコロジカル・ネットワーク

「維持管理の検討」について

管理対象 説明(2):対象面積

荒川太郎右衛門地区自然再生地の対象面積を示します。

※管理用通路は未検討のため、含めていない数値です。
今後、この分が追加となります。

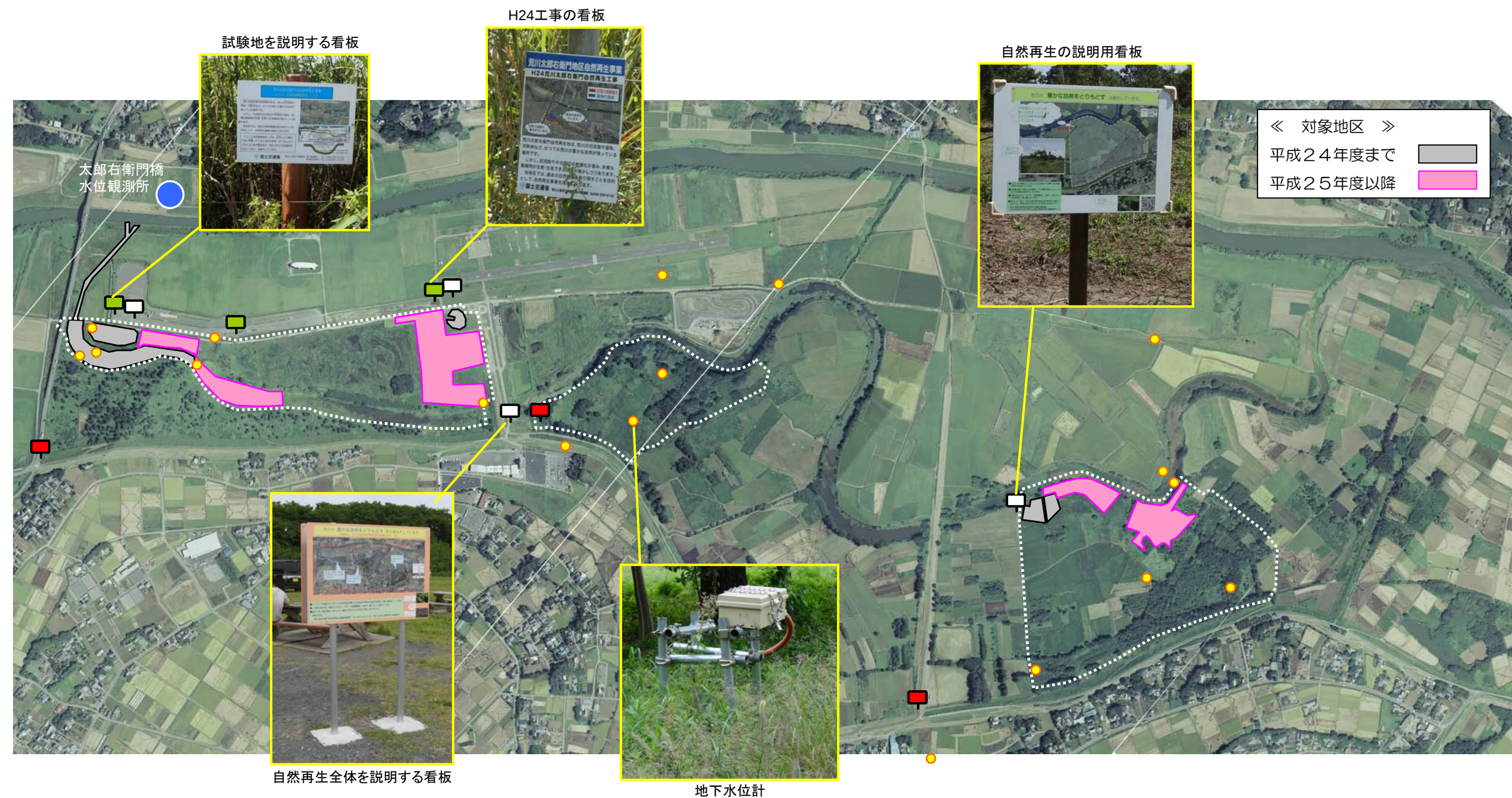


「維持管理の検討」について

管理対象 説明(3):水位計、看板等

荒川太郎右衛門地区自然再生地の水位計、看板の設置個所を示します。

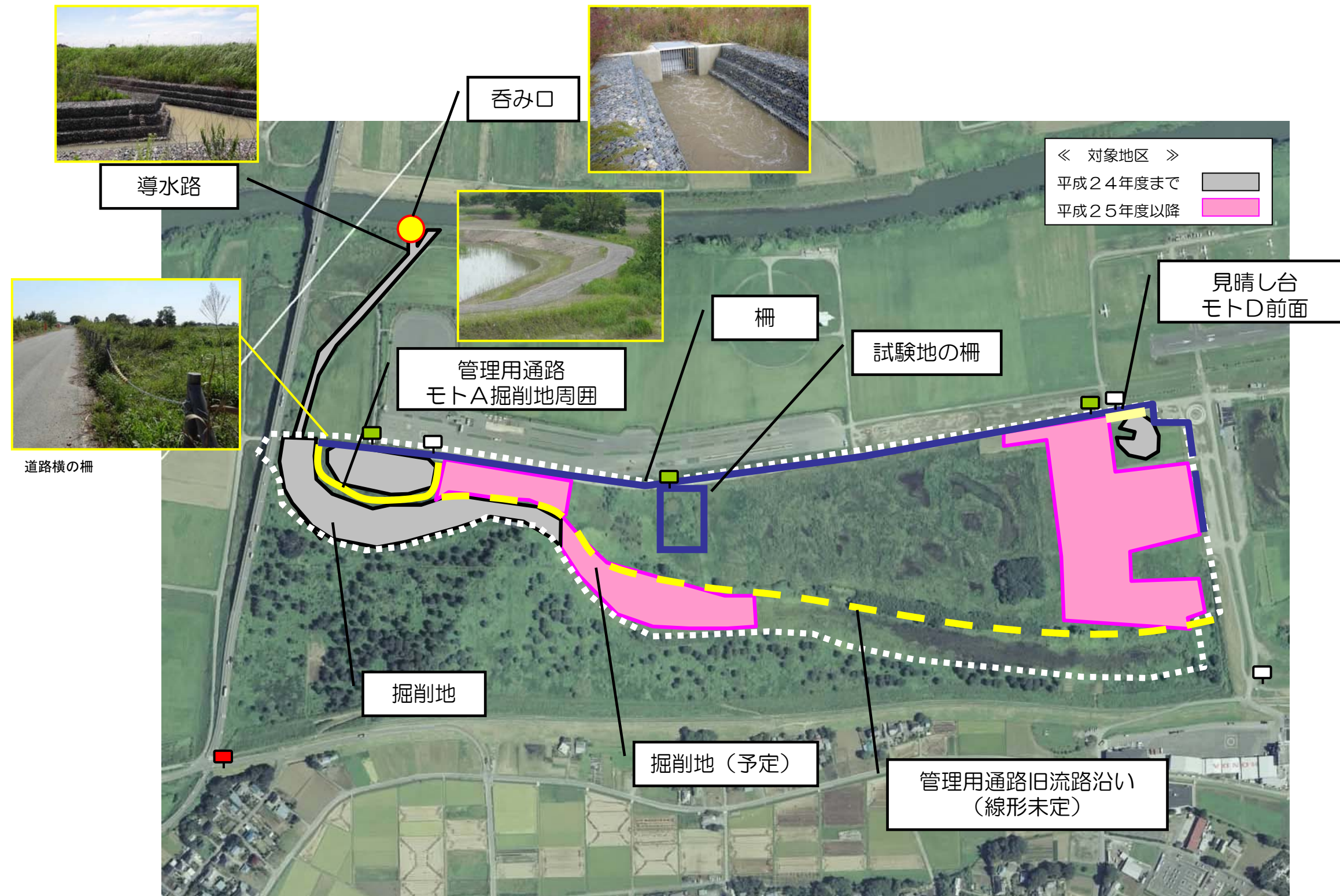
- 水位計設置個所
- 看板（試験地、工事説明用に設置）
- 看板（事業の説明用に設置）
- 看板（これから設置したほうが良いと考えられる）



「維持管理の検討」について

管理対象 説明(4):上池

上池の掘削地、呑み口、導水路、掘削地、柵、見晴し台、管理用通路の位置を示します。

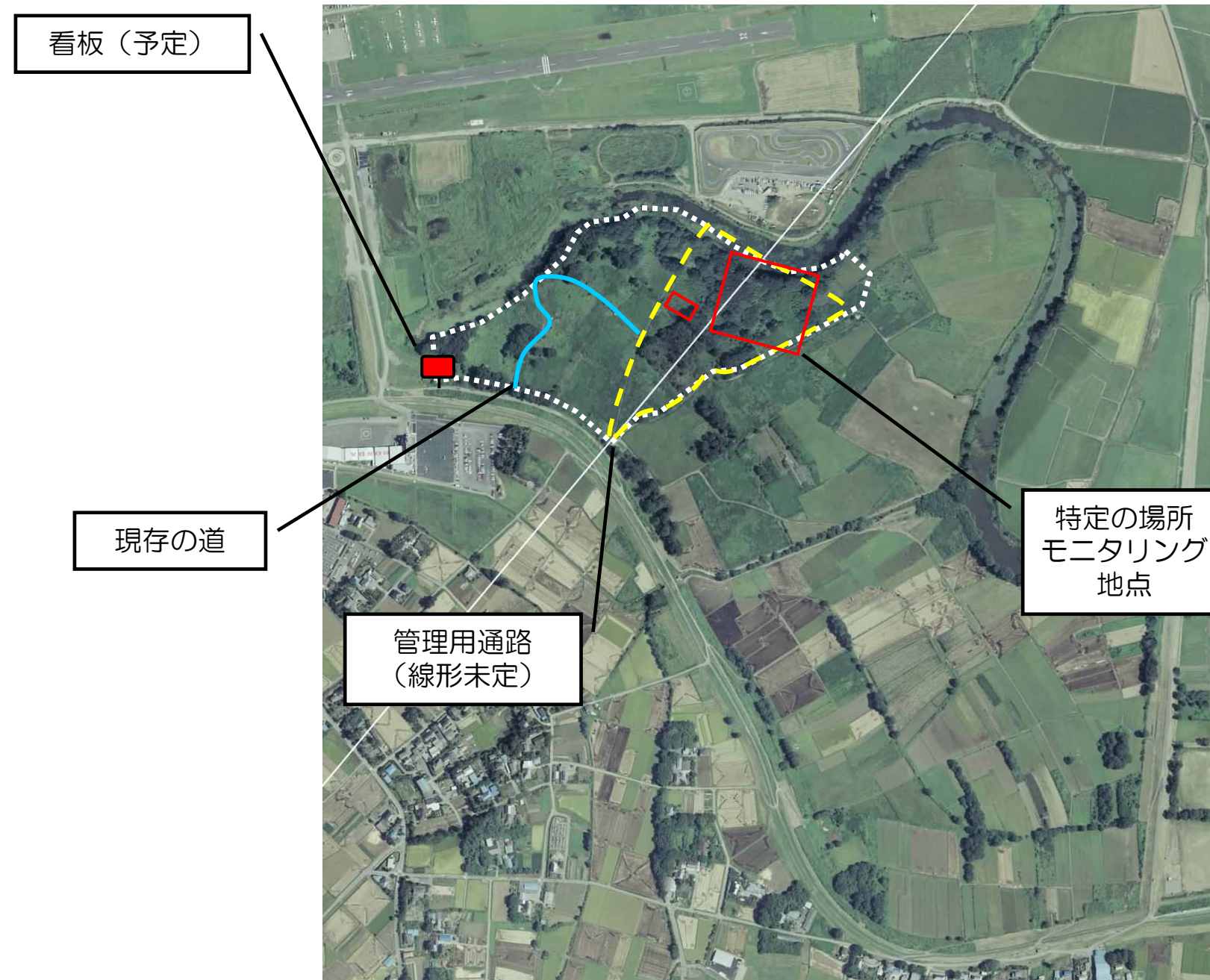


「維持管理の検討」について

管理対象 説明(5): 中池

中池では、何も整備を行っていません。

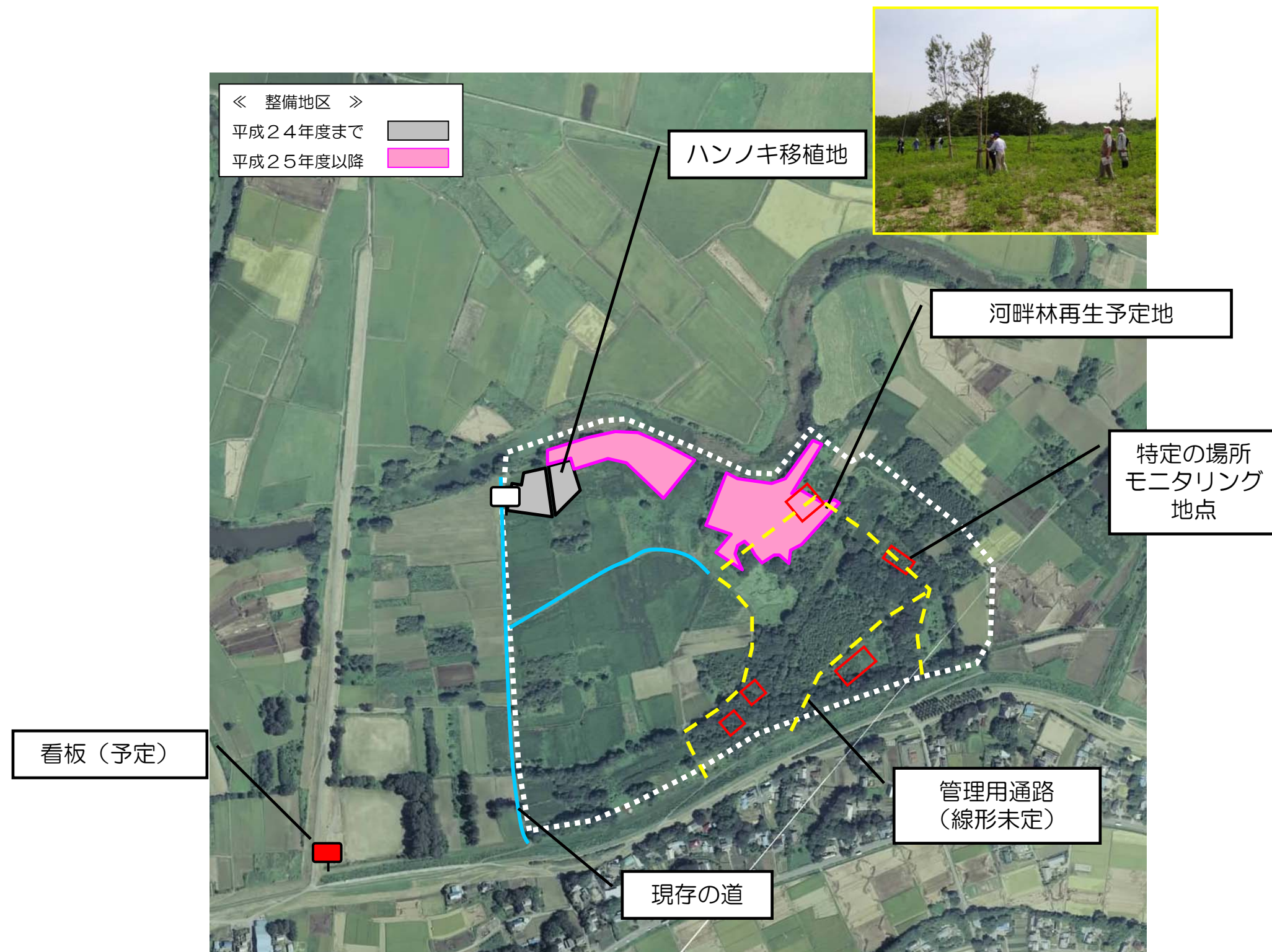
過去の管理目標ワーキングでは、自然再生地の場所であることを示す看板の設置と、散策路の整備が議論されています。



「維持管理の検討」について

管理対象 説明(6):下池

下池では、流路沿いの外来種の繁茂が著しい場所でハンノキの移植と管理用通路の整備が議論されています。



「維持管理の検討」について

維持管理の内容とコストの試算

保全作業

項目	地区・管理対象		荒川太郎右衛門地区の維持管理	参考 三ツ又沼の維持管理	時間数 (人・時/年)	備考
保全 作業	上池 旧流路整備地	呑み口	洪水後のゴミ除去(年1回) ※洪水流入は1.5回/年の計画	<市民団体主催保全管理作業> 除草、竹林刈払い、ハンノキ移植・管理、ヨシ刈り等 ・作業員 年間52回,1014時間・人 ・指導員 年間52回,104時間・人 <荒川上流事務所の保全管理作業> ・通路の除草作業 年間〇回, 〇〇時間・人 ・木道の補修 委託による <事務局主催保全管理作業> ・サポーター 年間7回,46時間・人 ※事務局除く	15	1回3時間/人×5人
			周辺の除草:毎年5月と7月の2回		30	1回3時間/人×5人
		導水路	堆積土砂の除去:10年に1回		151	300m区間で300m3掘削
			除草:毎年5月と7月の2回 300m		180	1回3時間/人×30人(100m当たり10人)
		通路	管理用通路の除草(毎年5月,7月)旧流路沿い等		300	1回3時間/人×50人
		上池整備地	外来種(オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ等)の除去:毎年13回		78	1回3時間/人×2人×13回(三ツ又52回の1/4回)
	上池 モトクロス場 跡地整備地	通路	管理用通路の除草(毎年5月,7月)モトA周囲		60	1回3時間/人×10人
		看板	看板(5個)の補修:10年に1回		30	本体価格と設置費用を時間換算
			除草:看板(5個)周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月		90	1回3時間/人×1人
		柵	補修:10年に1回		32	1000m区間で杭と番線費用+設置の費用を時間換算
			周辺の除草:毎年5月と7月の2回		150	1回3時間/人×25人
		整備地	外来種(オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ等)の除去:毎年13回		78	1回3時間/人×2人×13回(三ツ又52回の1/4回)
	中池河畔林	通路	管理用通路の除草(毎年5月,7月)		300	1回3時間/人×50人
		看板	看板(1個)の補修:10年に1回		6	本体価格と設置費用を時間換算
			除草:看板(1個)周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月		18	1回3時間/人×1人
		保全エリア	シンジュ・ハリエンジュの伐採:毎年1回		75	1回3時間/人×25人
	下池ハンノキ 移植地	通路	管理用通路の除草(毎年5月,7月)		300	1回3時間/人×50人
		看板	看板(2個)の補修:10年に1回		12	本体価格と設置費用を時間換算
			除草:看板(2個)周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月		36	1回3時間/人×1人
		実施計画範囲	シンジュ・ハリエンジュの伐採:毎年1回		75	1回3時間/人×25人
	移植したハンノキのつる性草本の除去 毎年2回		120		1回3時間/人×20人	
	地区全体	全体	不法投棄・盛土・工作物等の監視・巡視		208	毎週1人4時間巡視×年間52週
			市町村ゴミ収集(年10回)		20	市町村ゴミ収集(1回2時間×10回×2人)
		看板	看板(2個)の補修:10年に1回		72	本体価格と設置費用を時間換算
		管理センター(仮称)	センター施設の補修(未設置)			詳細不明
		地区周辺の管理用通路の除草・補修等			300	1回3時間/人×50人×2回
		航空写真(垂直・斜め)5年に1回+大規模出水10年に1回			1,174	400haのラジコンヘリ撮影を時間換算
		樹木伐採等			132	10年に1回15m高さのシンジュを20本伐採
合計			1,164時間・人	4,042		

※「直接費」としてかかる人数を整理しましたが、実際には作業に慣れない人が参画することが想定され、この数字の3倍のオーダーの人数が必要となる可能性が考えられます。

※理解を深めて頂く為に、平成24年度三ツ又沼ビオトープの管理実績を掲載しております。

「維持管理の検討」について

維持管理の内容とコストの試算

モニタリング

・本ページは、生態系モニタリング専門委員会で、別途議論が必要なものです。

項目	地区・管理対象	荒川太郎右衛門地区の維持管理	参考 三ッ又沼の維持管理	時間数 (人・時/年)	備考
モニタ リング	上池旧流路整備地	植物調査毎年5月(エキサイゼリ等)	サポーター見回り ・5回×1時間,5時間・人	20	荒川上流河川事務所の実績
		8月(オナモミ等、水生・湿性植物)		20	
		鳥類調査毎年6月(繁殖期1回)		24	
		魚類調査(水面形成時に年1回)		32	
		両生類調査毎年2月(ニホンアカガエルの産卵期)		24	
	上池モトクロス 場跡地整備地	植物調査毎年5月(エキサイゼリ等)		20	
		8月(オナモミ等、水生・湿性植物)		20	
		鳥類調査毎年6月(繁殖期1回)		24	
		両生類調査毎年2月(ニホンアカガエルの産卵期)		24	
	下池ハンノキ 移植地	ミドリシジミ調査7月(確認適期)1回		24	
		試験地のハンノキの高さ		28	
		生育状況調査6月(生育初期)		28	
		12月(生育末期)		28	
	地区全体	移植地のハンノキの高さ・幹径		28	
		生育状況調査6月(生育初期)		28	
		12月(生育末期)の2回		28	
		水位観測		24	1年間の水位観測データの収集と整理8時間×3日
		荒川水位(太郎右衛門橋)		192	1回8時間/人×2人(水上作業、3箇所)
		旧流路水位 ロガー回収・データ整理・毎月		192	1回8時間/人×2人(水上作業、15箇所)
		地下水水位 ロガー回収・データ整理・毎月		4.8	採水のみ1回1人8時間
		水質調査		9.6	1回6人8時間
		旧流路水質調査(2ヶ月に1回、10年に1回)		96	1回1人8時間
		表流水調査(かんがい期、非かんがい期、10年に1回)		80	1回10人8時間を仮定
		現地確認・結果整理		60	水国の歩掛かりの面積換算
		特定場所の写真撮影:毎月 撮影+データ整理		323	標準積算書で距離換算
		特定場所の群落組成調査:代表地1箇所を毎年1回		336	水国の歩掛かりの面積換算
		植生図の更新:5年に1回		336	水国の歩掛かりの面積換算の5倍
		定期横断測量:5年に1回+大規模出水後		63	標準積算書で距離換算
		河道内樹木調査(概略) 毎年		160	4日×8時間×5人
		河道内樹木調査(詳細) 5年に1回		9	水国の歩掛かりの面積換算
		河川空間利用実態調査 3年に1回		30	毎年で10倍と調査の容易差で1/3倍
		河川利用者の安全確保点検(護岸、坂路、散策路、手すり、天端道路等) 毎年1回(利用期前)		32	水国歩掛
		鳥類の繁殖場調査(河道内樹木調査) 10年に1回		9	水国歩掛
		鳥類の繁殖場調査 随時		8	水国歩掛
		底生生物調査 10年に1回		23	水国歩掛
		鳥類調査 10年に1回			
		両生類・爬虫類・哺乳類調査 10年に1回			
		陸上昆虫類調査 10年に1回			
	合計		5時間・人	2,331	

本資料は検討中のものであり、今後の検討によって変わる可能性があります。

※理解を深めて頂く為に、平成24年度三ッ又沼ビオトープの管理実績を掲載しております。

「維持管理の検討」について

維持管理の内容とコストの試算

広報、研究・環境教育、事務局、合計

項目	地区・管理対象		荒川太郎右衛門地区の維持管理	参考 三ッ又沼の維持管理	時間数 (人・時/年)	備考
広報	地区全体	春イベント	<ハンノキプロジェクト> ・学校訪問8回 ・38時間・人 <環境教育現地対応> ・14回 ・指導員56時間・人 ・作業員408時間・人	80	10人×8時間	
		秋イベント		320	20人×2回(準備含む)×8時間	
		サポーター講座(年2回)		4	講師2時間	
合計				502時間・人	404	

項目	地区・管理対象		荒川太郎右衛門地区の維持管理	参考 三ッ又沼の維持管理	時間数 (人・時/年)	備考
研究	地区全体	自然再生の研究	フィールド調査・研究・論文作成等		480	2人×30日×8時間 (研究者が年間1ヶ月研究を行うと想定)
			フィールドデータベースの構築と管理		2,000	1人×250日×8時間 (専門の人が常時管理)
環境教育		環境教育	学校・企業等での講師活動		144	年3回×2人×24時間(準備含む)
合計				0時間・人	2,624	

項目	地区・管理対象	荒川太郎右衛門地区の維持管理	参考 三ッ又沼の維持管理	時間数 (人・時/年)	備考
事務局	協議会開催	年2回	<保全ミーティング参加> ・ミーティング 年間5回12名、120時間・人	96	荒川上流河川事務所の実績
	運営委員会開催	年2回		48	
	生態系モニタリング専門会開催	年3回		192	
	管理目標ワーキング開催	年3回		168	
	広報ワーキング開催	年3回		144	
	HP運営会議	年4回		192	
	イベント実行委員会	年4回		224	
	合計			120時間・人	

項目			参考 三ッ又沼の維持管理	時間数 (人・時/年)	備考
保全作業			1,164時間・人	4,042	
モニタリング			5時間・人	2,331	
広報			502時間・人	404	
研究・環境教育			0時間・人	2,624	
事務局			120時間・人	1,064	
合計			1,791時間・人	10,466	

本資料は検討中のものであり、今後の検討によって変わる可能性があります。

※「直接費」としてかかる人数を整理しましたが、実際には作業に慣れない人が参画することが想定され、この数字の3倍のオーダーの人数が必要となる可能性が考えられます。

※理解を深めて頂く為に、平成24年度三ッ又沼ビオトープの管理実績を掲載しております。